

## 議題提案書

第 33 回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会において、以下の議題・報告を提案します。

団体名	新潟水辺の会・小宮山研究室（新潟国際情報大学）
提案内容	議題
提案内容の題目	ラムサール条約の湿地認証候補都市自治体に恥じない 佐潟の持続可能な植生を 取り戻すための環境データ解析
提案内容の説明	<p>佐潟周辺自然環境保全連絡協議会及び佐潟周辺自然環境保全計画では、毎回「佐潟の水質改善に向けた取り組み」を掲げているが効果的な手を打てないでいる現状がある。</p> <p>だが新潟市には、平成 10 年度から佐潟学術研究事業を行い、佐潟などの基礎研究事業を行ってきた。また、佐潟・御手洗潟の水質調査を、平成 9 年よりアオコ発生指標となる PH、COD、SS、全窒素、全リン、クロロフィル a 等を毎月調査し、20 年以上のデータの蓄積もある。また過去の気象や植生、水位変動記録、ハス・ヒシの分布経年変化のデータもある。水質悪化の原因解明のため、データ解析について方法を検討したが、そのほか考えられる手法について事務局、協議会で、ご意見、助言、協力をいただきたい。</p>
解決に向けた提案	<p>上記のデータが新潟市には蓄積され、個々の要因の変動について、毎年、分析されているが原因解明には至っていない。これはこの現象が複合的な要因が複雑にからみあってもたらされているためではないだろうか。この調査報告や調査のデータを小宮山研究室（新潟国際情報大学）に集め、新潟水辺の会が新潟市などの助成金申請を行い、調査に必要な経費を確保しながら同研究室の持つノウハウ（データを見える化し、ワークショップ形式でアイデアを引き出す）と若きスタッフの柔軟な視点より「佐潟の持続可能な植生を取り戻すための環境データ解析」を継続的に行っていくためのスタートアップを確立する。</p> <p>水質悪化を防ぎ、アオコと共存しながら植生を取り戻し、持続可能な佐潟ラムサール条約の湿地自治体認証に恥ずかしくない体制づくり（データ解析をすることで原因を解明し、水質改善に向けた取り組みについて協議会等で議論を重ねながら協議会会員の皆様と協働で取り組みを進める）の一助としたい。</p>
その他	
付属資料の有無	有

※なお、枠が不足する場合は、適宜枠を広げるか別紙等で記載ください。